

# 協議会だより

発行・編集 大阪障害者スポーツ指導者協議会 広報部  
大阪市東住吉区长居公園 1-32 大阪市長居障害者スポーツセンター内  
TEL 06-6697-1402 FAX 06-6697-8613

平成 21 年 3 月 31 日  
第 60 号



日本障害者スポーツ指導者協議会  
近畿ブロック特別研修会 2008・2・21(土)  
「北京パラリンピックの報告と今後の展望」  
北京パラリンピック日本選手団 団長  
大久保 春美 氏



期 間 2008 年 9 月 6 日(土)  
～ 17 日(水)

開催都市 中国・北京  
香港(馬術)  
青島(セリツグ)

運営主体 国際パラリンピック委員会  
北京オリンピック組織委員会

参加国 約 148 カ国・地域

選 手 約 4,000 人

役 員 役 2,000 人

北京大会への参加に向けて

1. 日本代表選手選考規定
2. メディア対応
3. 渡航方法
4. イベントの実施
5. 競技団体費用負担
6. ゲストパスの有効利用
7. 医療サポート

国籍条項(日本代表資格)  
他国籍でも条件により日本代表で参加できる  
参加資格  
国際クラス取得、標準記録の突破  
健康  
健康診断書の審査  
8 位入賞レベルの競技力  
国際ランキング、国際大会の記録

## 北京パラリンピックの特徴

オリンピック組織委員会がパラリンピックを開催・運営  
参加国に対し経済的援助(エントリー費の無料化、参加補助金の支給)  
マーケティング規則の適用 ドーピング検査の実施  
選手団及びメディアの参加方法 ⑥ より高くなった競技レベル  
メダル種目数の減少 シドニー大会(550)・アテネ大会(519)  
北京大会(472)、クラスの統合、参加選手数の少ないクラスの種目の取り止めなど

競技毎にメディア担当者の設置  
強化スケジュール  
選手プロフィール  
クラス分け解説  
競技解説  
⑥選手団マニュアルの充実

少ないメダルを競うことで、メダル獲得はより厳しい状況になった。その反面、開催国の中国を筆頭とし、上位 5 カ国で金メダルの 45%、銀メダルの 38%、銅メダルの 35% を獲得し、そして全メダルの 39% を獲得するなど一部の国にメダルが集中しました。

## 今後の課題

社会環境が変わり、障害者層も変化している状況を分析

- ・ きめ細かい選手育成 難しい選手発掘
- ・ 組織力の整備
- ・ 法整備も含めた社会の仕組みづくり





大阪障害者スポーツ指導者協議会  
研修会 2009.2.22(日)

障害区分(クラス分け)

大阪府立大学総合リハビリテーション学部  
奥田 邦晴 氏



2月22日(日)大阪市長居障害者スポーツセンターにおいて、恒例の研修会が行われました。今回のテーマは障害区分(クラス分け)で、講義を受けました。その中で北京パラリンピックはオリンピックとパラリンピックが同じ組織運営であるため、より競技性の高いパラリンピックの始まりとなった事など聞くことが出来ました。講演の一部ですが下記に資料より抜粋しました(広報・松浦)

<p><b>クラス分けは競技によって異なる!</b></p> <p>水泳 → S1~T10, S20~B1 車椅子バスケットボール 1.0~4.5点 (1チーム合計14点) 車椅子バレーボール 1.0~4.5点 (1チーム合計14点) ボウリング → BC1, BC2, BC3, BC4 アーチェリー → APW1, APW2, APST 射撃 CP-USA</p>	<p><b>わが国における競泳のクラス分け</b></p> <p>① 全国障害者スポーツ大会におけるクラス分け(27クラス) S1~S10 (11) 立脚無障害者(12) 2クラス (13) 立脚軽度障害者(14) 2クラス (15) 立脚軽度障害者(16) 2クラス (17) 立脚軽度障害者(17) 2クラス (18) 立脚軽度障害者(18) 2クラス (19) 立脚軽度障害者(19) 2クラス (20) 立脚軽度障害者(20) 2クラス (21) 立脚軽度障害者(21) 2クラス (22) 立脚軽度障害者(22) 2クラス (23) 立脚軽度障害者(23) 2クラス (24) 立脚軽度障害者(24) 2クラス (25) 立脚軽度障害者(25) 2クラス (26) 立脚軽度障害者(26) 2クラス (27) 立脚軽度障害者(27) 2クラス</p>	<p><b>IPC Swimming クラス分け(FGS)</b></p> <p>競泳主自由 クラス分けは次の3つ要素によって決定されます。 Bench test (ベンチテスト) Water test (ウォーターテスト) Competition (競技観戦) 想像観戦 返戻による返戻(立上競技)と特力種適用の数字のマップの組み合わせでパラと特力種選手チャートなどで決りが決定されます。</p>	<p><b>水泳のクラス分けの流れ</b></p> <p>ベンチテスト MMT (最大筋力) ROM+ (関節可動域) SCG (身体組成) PFA (肺機能) FMD (最大酸素摂取量)</p> <p>競技長・身長 年齢・身長 Dysfunction I CP (脳性麻痺) CVA (脳卒中)</p> <p>ウォーターテスト 水泳中に測定した上下肢、体幹の動きを監視し、クラスを最終的に決定する。</p>
<p><b>脳性麻痺障害のとらえかた</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ひとつの特定の疾患を示す診断名ではない。</li> <li>現在は、発達の初期に受けた何らかの脳損傷の結果生じた運動障害状態を指す。</li> <li>非進行性で非可逆的であるが、臨床症状は生涯にわたって成熟や適応の過程で変化していくもの(生涯障害: Life long disability)。</li> <li>二次障害の予防が重要</li> </ul>	<p><b>四肢麻痺タイプの運動障害の特徴</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中重度から重度の痙攣の程度により随意運動は限られる</li> <li>過剰な筋緊張により四肢、体幹の随意運動が乏しい</li> <li>持続的に頭部をコントロールすることが難しい</li> <li>定型的な運動を行う</li> </ul>	<p><b>アテトーゼタイプの運動障害の特徴</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>上半身が下半身にくらべて障害が重い。</li> <li>姿勢保持のための持続的な筋収縮が困難であり、姿勢が安定しない。</li> <li>紅葉様から高緊張まで筋緊張が突然変動し、動揺する。</li> <li>痙攣的な運動が難しく、突発的である。</li> <li>全身的な運動を行う。</li> <li>不随意運動がある。</li> </ul>	<p><b>車椅子バスケットボールのクラス分け</b></p> <p>競技中に動きを観察して、クラスを決定する。</p> <p>カテゴリーA: 障害を認めることができない選手 カテゴリーB: 障害を認めることができない選手 カテゴリーC: 障害を認めることができない選手 カテゴリーD: 障害を認めることができない選手 カテゴリーE: 障害を認めることができない選手 カテゴリーF: 障害を認めることができない選手 カテゴリーG: 障害を認めることができない選手 カテゴリーH: 障害を認めることができない選手 カテゴリーI: 障害を認めることができない選手 カテゴリーJ: 障害を認めることができない選手 カテゴリーK: 障害を認めることができない選手 カテゴリーL: 障害を認めることができない選手 カテゴリーM: 障害を認めることができない選手 カテゴリーN: 障害を認めることができない選手 カテゴリーO: 障害を認めることができない選手 カテゴリーP: 障害を認めることができない選手 カテゴリーQ: 障害を認めることができない選手 カテゴリーR: 障害を認めることができない選手 カテゴリーS: 障害を認めることができない選手 カテゴリーT: 障害を認めることができない選手 カテゴリーU: 障害を認めることができない選手 カテゴリーV: 障害を認めることができない選手 カテゴリーW: 障害を認めることができない選手 カテゴリーX: 障害を認めることができない選手 カテゴリーY: 障害を認めることができない選手 カテゴリーZ: 障害を認めることができない選手</p>
<p><b>車椅子バスケットボール選手の障害程度</b></p> <p>問題行動(約80%)、切筋、ボリオ量</p> <p>1クラス(1): 障害レベルが70%以上の選手 2クラス(2): 障害レベルが60%以上の選手 3クラス(3): 障害レベルが50%以上の選手 4クラス(4): 障害レベルが40%以上の選手 5クラス(5): 障害レベルが30%以上の選手 6クラス(6): 障害レベルが20%以上の選手 7クラス(7): 障害レベルが10%以上の選手 8クラス(8): 障害レベルが10%未満の選手</p>	<p><b>陸上競技のクラス分類</b></p> <p>短距離 (A1~A11) 中距離 (B1~B4) 長距離 (C1~C8) 競歩 (D1~D4) マラソン (E1~E4) 障害者 (F1~F8) 視覚障害 (G1~G4) 聴覚障害 (H1~H4) 知的障害 (I1~I4) 複合障害 (J1~J4) 複合障害 (K1~K4) 複合障害 (L1~L4) 複合障害 (M1~M4) 複合障害 (N1~N4) 複合障害 (O1~O4) 複合障害 (P1~P4) 複合障害 (Q1~Q4) 複合障害 (R1~R4) 複合障害 (S1~S4) 複合障害 (T1~T4) 複合障害 (U1~U4) 複合障害 (V1~V4) 複合障害 (W1~W4) 複合障害 (X1~X4) 複合障害 (Y1~Y4) 複合障害 (Z1~Z4)</p>	<p><b>陸上競技のクラス分類 (視覚・聴覚・知的)</b></p> <p>短距離 (A1~A11) 中距離 (B1~B4) 長距離 (C1~C8) 競歩 (D1~D4) マラソン (E1~E4) 障害者 (F1~F8) 視覚障害 (G1~G4) 聴覚障害 (H1~H4) 知的障害 (I1~I4) 複合障害 (J1~J4) 複合障害 (K1~K4) 複合障害 (L1~L4) 複合障害 (M1~M4) 複合障害 (N1~N4) 複合障害 (O1~O4) 複合障害 (P1~P4) 複合障害 (Q1~Q4) 複合障害 (R1~R4) 複合障害 (S1~S4) 複合障害 (T1~T4) 複合障害 (U1~U4) 複合障害 (V1~V4) 複合障害 (W1~W4) 複合障害 (X1~X4) 複合障害 (Y1~Y4) 複合障害 (Z1~Z4)</p>	



大阪障害者スポーツ指導者協議会の年次総会が4月26日(日)、大阪市長居障害者スポーツセンターで開かれます。できるだけ参加くださいますようお願いいたします。(詳細は別紙)

国際親善女子  
車椅子バスケットボール大阪大会  
2009.2.19~2.21  
大阪市中央体育館



目的: 障害者のスポーツの普及・発展をめざし国際交流に資するため、世界の強豪女子チームが参加する車椅子バスケットボール競技大会を開催する。また、広く市民や学校などに、応援の参加を呼びかけるとともに、児童・生徒と各国選手団との交流、車椅子バスケットボールの体験等を通じて、国際親善と障害者に関する理解の高揚をはかる。

決勝試合のオーストラリア対日本は接戦の末、オーストラリアが56対50で優勝しました。見所はやはり障害区分の持ち点(2.0)が少ない選手のシュート力や突破力のある選手の動きなど迫力に満ちていました。

まだ観戦をしていない方は是非、来年の大会に行ってお越しください。(広報・松浦)



資格取得後の活動がわからぬという時は研修会などに参加してみてください。

編集後記

広報一同